

京都大学（南部）医薬系総合研究棟施設整備事業
入札説明書等に関する質問回答（２回目）等

平成２７年 ５月１５日

国立大学法人 京都大学

< 総 括 >

書 類	質問件数	書 類	質問件数
① 入 札 説 明 書	7	⑥ 基本協定書（案）	0
② 様 式 集	4	⑦ 事業契約書（案）	0
③ 要求水準書本文	3	⑧ 実施設計図書	141
④ 要求水準書別表・資料	5	⑨ そ の 他	4
⑤ 落札者決定基準	2		
合 計			166

- 1 本質問回答は、平成２７年４月３０日（木）から５月７日（木）に受け付けた京都大学（南部）医薬系総合研究棟施設整備事業の入札説明書等に関する質問を入札説明書等の項目順に整理し、その回答を記載したものです。
- 2 質問の内容は、質問者の記載どおりとしています。ただし、質問項目及び記載位置については、大学で整理していますので注意してください。
- 3 **本質問回答の後（うしろ）に、追記事項とともに、別紙及び別図を添付しますので、留意してください。**

入札説明書等に関する質問回答(2回目)

＜ ① 入札説明書に関する質問回答 ＞

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	ア	a	質 問	回 答
1	公共施設等の概要(延べ面積)	5	1	6	4	2	③	ウ		医薬系総合研究棟の延べ面積ですが、入札説明書と実施設計図書(A-03図)で異なります。実施設計図書(A-03図)が正と考えて宜しいでしょうか。	実施設計図書(A-03図)を正とします。
2	変更設計	6	1	6	4	3	①	イ		VE提案による設計変更を行う場合、設計期間や費用に関して実施設計者と入札前に協議することは可能との理解でよろしいでしょうか。	まず、「原設計者」を「設計に当たる者」にすることはできません。 つぎに、落札後、選定事業者から設計業務を受託した者(「設計に当たる者」)が、「原設計者」に再委託(ただし、「原設計者」に委託する合理的な理由がある範囲とし、一括しての再委託(いわゆる「丸投げ」を除く。)することは可能とします。 したがって、「原設計者」と、設計期間や費用に関する事項に限り、入札前に協議することを認めるものとします。
3	建設業務	6	1	6	4	3	①	ウ		本事業の公共性を踏まえて、建設業務を実施する元請企業は、善意・悪意を問わず社会保険未加入業者と下請契約を締結することはできず、必要な法定福利費を積算した上で本事業の施設整備費に含めて入札する必要があるとの理解でよろしいでしょうか。また、下請業者の社会保険加入状況について大学が調査を実施されとの理解でよろしいでしょうか。	本事業の実施にあたっては、一般的な公共工事と同様に国土交通省の「社会保険加入に関する下請指導ガイドライン(平成27年3月25日改訂)」に則った経費算定が必要です。大学は、社会保険等加入状況に関して、適宜確認を行います。
4	施設整備業務(設計業務)	45	-	4						VE提案要領4 VE提案に関する採否について、大学から通知される可否判断は、現設計時の各種申請(まちづくり条例、景観法等)協議における行政庁判断の内容を踏まえたも	大学によるVE提案の採否結果は、当然に、特定行政庁等の判断の内容を踏まえたものではありません。つまり、特定行政庁等が当該VE提案の内容を許認可することを保証

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	ア	a	質 問	回 答
										のと捉えて宜しいでしょうか。即ち、採用可となったV E 提案が各種申請協議において定性的に不可と判断されることは無いと考えて宜しいでしょうか。但し、各法令に基づき事業者側で一般的に判断できる内容を除きます。	するものではありません。選定事業者は、V E 提案にともなって各種申請手続が必要な場合は、V E 提案要領に記載のとおり、自らの責任において当該手続を行い、必要な許認可を受けたうえで、変更設計による実施設計図書を大学に提出し、その内容について確認を受ける必要があります。
5	施設整備業務 (設計業務)	45	-	5						V E 提案要領5 実施設計図書の変更設計について、変更設計した実施設計図書の作成に際して、現設計図のC A Dデータは御提供頂けますでしょうか。	事業契約の締結後に提供します。
6	施設整備業務 (設計業務)	45	-	5						本研究棟は、構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士の関与が義務付けられています。変更設計に依って、建築基準法上(計画通知手続き上)の軽微変更届出が必要となった場合の、同法申請手続き上の設計者(特に構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士)について御教示ください。	V E 提案による変更設計のすべての箇所については、選定事業者の「設計に当たる者」が設計者となります。
7	添付資料(付帯 事業提案要領)	50		5	1					「ミニカフェ等」の記載がいくつかありますが、これは平成25年11月5日公表の実施方針4 Pの※2に記載されている内容(付帯事業は、「交流スペース(アウトリーチエリア)」におけるミニカフェ等の開設及び自動販売機等の設置と、「リフレッシュスペース(各階)」における自動販売機等の設置を想定しているが、これらに限るものではなく、具体的には、入札参加者の提案(付帯事業提案)による。)を受けての表現と推察します。平成25年11月5日公表の実施方針は、今回の公告にあたっては正式な書類として効力を発揮するとの理解でよろしいでしょうか。	ご指摘の「実施方針」は、大学と選定事業者の協議において参考にすることはあるとしても、今回の公告(再公告)にあたって、正式な(拘束力のある)書類として扱わないものとします。

< ② 様式集に関する質問回答 >

番号	質問項目	頁	様式	章	1	(1)	1)	①	ア	質 問	回 答
8	呼称	3		2	3					提案書に構成員及び協力会社を記載する際は、例えば「【A社】」と記載するのでしょうか。若しくは、「A社」のように【 】を外して記載してもよろしいでしょうか。	【 】を含めて呼称としますので、例えば、【A社】のように記載してください。
9	事業実施に対する取組姿勢	51	32							「入札企業、入札参加グループの構成員、協力会社等については、＜様式6＞の【呼称】を使用して記載してください」とありますが、実施体制の特徴を示すための入札参加グループの過去の実績や担当者のスキルや実績を示すための職歴・実績については、具体的な案件名等を記載してもよいとの理解でよろしいでしょうか。	当該職歴や実績等の記載が、入札参加企業、入札参加グループの構成員、協力会社等を直接的に推察される（例えば企業名の一部が表記される）ものでなければ問題ありません。
10	事業継続の安定性	57	37							「入札企業、入札参加グループの構成員、協力会社等については、＜様式6＞の【呼称】を使用して記載してください」とありますが、出資者や受託者の業績等を示すために、具体的な会社概要等を記載してもよいとの理解でよろしいでしょうか。	当該概要等の記載が、入札参加企業、入札参加グループの構成員、協力会社等を直接的に推察される（例えば企業名の一部が表記される）ものでなければ問題ありません。
11	＜施設整備業務＞VE提案の有効性	68	46							環境負荷の低減(LCCO2の低減等)の記載要領として「施設整備業務における環境負荷の低減(LCCO2の低減等)とともに、維持管理業務に環境負荷の低減(LCCO2の低減等)についても記載してください」とあります。一方、※印内に「維持管理業務にける環境負荷の低減(LCCO2の低減等)及び維持管理業務における経済性(LCCの低減等)に関連するVE提案は本項目で評価します」とあります。よって施設整備業務における環境負荷の低減については、様式46に記載してもよいが評価はしないという理解でよろしいでしょうか。その場合、VE提案の有効性のうち	＜様式46＞は、「施設整備業務における環境負荷の低減(LCCO2の低減等)」はもとより、「維持管理業務における環境負荷の低減(LCCO2の低減等)」及び「維持管理業務における経済性(LCCの低減等)」に関連するVE提案も本項目で評価し、「施設整備業務における経済性(LCCの低減等)」及び「工程管理の適切性」に関連するVE提案は本項目で評価しないということです。なお、「工程管理の適切性」に関連するVE提案は＜様式51＞で、「施工における環境負荷の低減(LCCO2の低減等)」に関連するVE提案は＜等式53＞で、それぞれ評価

番号	質問項目	頁	様式	章	1	(1)	1)	①	ア	質 問	回 答
										施設整備業務における環境負荷の低減は様式 5 3 で評価されるとの理解でよろしいでしょうか。	します。

< ③ 要求水準書 本文に関する質問回答 >

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
12	警備業務	20	3	7						平成 2 7 年 3 月 1 7 日公表の「入札説明書等に関する質問回答(1回目)」No. 1 2 8 にて回答いただきました、事業者で初期調達するカードについては、医薬系総合研究棟の予備 2 0 枚、薬学部本館の各室 3 枚程度のみであり、供用開始後に新たにカードの追加が必要になった場合は大学側でご準備いただけるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
13	警備業務	20	3	7						平成 2 7 年 3 月 1 7 日公表の「入札説明書等に関する質問回答(1回目)」No. 1 2 8 にて回答いただきました、カードを用意する「薬学部本館の各室 3 枚程度」について、対象となる諸室数をご教示ください。また、現在使用されているカード枚数をご教示ください。	ご質問の前段については、要求水準書 P 2 1 の「3) 薬学部本館」を参照してください。ご質問の後段については、前回回答と同数程度使用されています。
14	警備業務	20	3	7						機械警備のカードについて、カードへの情報入力(登録)、変更、紛失に伴う抹消等の作業は大学側で実施いただけるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

< ④ 要求水準書 別表・資料に関する質問回答 >

※ 実施設計図書を除く

番号	質問項目	表資 番号	〇〇 枚目	上中 下段	-	-	質 問	回 答
15	施設整備業務 (申請業務) ■ 申請工程表 (H 2 6 . 5 . 2	05	-	全段			■申請工程表(H 2 6 . 5 . 2 6 現在)に記載のある各種申請について、「変更届の提出が必要」や「提出予定」とあるも	すべての手続を完了しています。

番号	質問項目	表資 番号	〇〇 枚目	上中 下段	-	-	質 問	回 答
	6 現在)						のについて、現時点での申請状況を御教示ください。また提出未了の場合、書類作成状況及び提出予定スケジュール(特に⑪⑬)を御教示ください。	
16	施設整備業務(申請業務) ■申請工程表(H26.5.26現在)	05	-	全段			変更設計により各種申請の変更手続きが生じる場合、現在の申請書類・図面の電子データ(ワード・エクセル・CAD等編集可能な形式)は御提供頂けますでしょうか。	事業契約の締結後に提供します。
17	施設整備業務(申請業務) ■申請工程表(H26.5.26現在)	05	-	全段			現設計に係る各種申請作業について、■申請工程表(H26.5.26現在)に記載が無いものが生じていれば、申請種別、現在の申請状況を御教示ください。	特にありません。
18	施設整備業務(申請業務) ■申請工程表(H26.5.26現在)	05	-	① ⑤			■申請工程表(H26.5.26現在)に記載のある各種申請について、建物外装の変更に影響を与えと思われる①まちづくり条例⑤景観地区(美観地区)内による認定申請の申請(届出)内容を御提示下さい。	別紙1を参照してください。
19	施設整備業務(申請業務) 建基法86条の2第1項認定 ■申請工程表(H26.5.26現在)	05	-				資料05表③建基法第86条の2第1項認定ですが、医薬系総合研究棟以外の建物も今回の認定建物に含まれておりますでしょうか。その場合、本事業の変更設計にて同認定の変更届が必要となった場合の申請者及び設計者のスキームについて御教示ください。	現在工事中のiPS細胞研究所第3研究棟が含まれます。本事業に変更が生じる場合は、事業者の定める有資格設計者において法令上の手続きを行って下さい。既提出分の資料やデータは提供可能です。

< ⑤ 落札者決定基準に関する質問回答 >

番号	質問項目	頁	1	(1)	1)	①	ア	a	-	質 問	回 答
20	提案内容審査(第二次審査)	4	5	1						「全ての入札参加者の入札金額が予定価格を超えている場合は、再度入札を行う。この場合、再入札に際して提案内容の変更を行うことは許されるものとする」とあります。これは提出した提案を修正して入札するということで、再	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	頁	1	(1)	1)	①	ア	a	-	質 問	回 答
										入札までに一定期間が確保されとの理解でよろしいでしょうか。	
21	付帯事業に関する事項	9	5	3	4					入札説明書50Pにおいて「ミニカフェ等」という記載がいくつかあります。事業内容としてミニカフェを実施することは評価水準の評点があるとの理解でよろしいでしょうか。	落札者決定基準に基づいて審査委員会が提案内容を評価するものであり、必ずしも「ミニカフェ等」の提案であれば一律に評価が高くなるというものではありません。 ただし、学内アンケート結果（平成25年12月11日公表の実施方針に関する一般質問回答等P32、33）では、交流スペースに喫茶機能（カフェ、自販機等）を求める要望は少なからずあります。

< ⑥ 基本協定書(案)に関する質問回答 >

質問なし

< ⑦ 事業契約書(案)に関する質問回答 >

質問なし

< ⑧ 実施設計図に関する質問回答 >

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
22	同等品・メーカー				下記仕上材について、同等品・メーカーがありましたら、御指示下さい。 ・アルミ庇	R S バイザー(株)杉田エース同等品とします。
23	敷地現況				現地は埋文調査が終わっているように思われますが、山留め工事(SMW打設)の為、一旦GL迄、埋戻す必要があります。埋戻すのに必要な土量の計算が出来る資料(現況図)を貸与願います。	別紙2を参照してください。
24	DS-OAバルコニー目隠しルーバーピッチ	A-04 A-85	外部仕上表・凡例表 部分詳細図-9	外部仕上表 外壁 DS-OAバルコニー廻り詳細図	DS-OAバルコニー廻りアルミルーバーについて、仕上表では@100ですが、部分詳細図では@325となっています。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	部分詳細図を正とします。 ただし、ルーバー形状により@は変更となり、また、京都市建築法令実務ハンドブック4-7の開放率を厳守することとします。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
25	合成樹脂塗床 E	A-04	外部仕上表・凡例表	材料記号	合成樹脂塗床 E エポキシ系樹脂塗床の施工範囲が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該塗床の施工範囲はありません。
26	合成樹脂塗床 E	A-04	外部仕上表・凡例表	材料記号	上記質疑に関係し、合成樹脂塗床 E エポキシ系樹脂塗床の詳細仕様が不明です。参考メーカー・品番等ありましたら御指示ください。	番号 25 への回答を参照してください。
27	合成樹脂塗床 B	A-04	外部仕上表・凡例表	材料記号	合成樹脂塗床 B ウレタン系防塵塗床(防滑工法)の詳細仕様が不明です。参考メーカー・品番等ありましたら御指示ください。	カラートップ U (株) A B C 商会 同等品とします。
28	B 2 F 実験室 天井下地	A-05 A-100	内部仕上表(1) シールド工事詳細図-2	断面詳細図	B 2 F 実験室の天井下地ボードに於いて、仕上表は銅箔 + G B - R t = 1 2 . 5 + 化粧ケイカル t = 6 . 0、シールド工事詳細図は G B - R t = 1 2 . 5 + 銅箔 + G B t = 1 2 . 5 + 化粧ケイカル t = 6 . 0 と相違します。シールド工事詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	シールド工事詳細図を正とします。
29	アコーディオンカーテン	A-06 A-46	内部仕上表(2) 2階平面詳細図-4	薬品資源学2	2 F 薬品資源学2 の仕上表にアコーディオンカーテンの記載がありますが、平面詳細図では別途工事の記載です。別途工事と考えて宜しいでしょうか。本工事の際は、仕様詳細を御指示下さい。	当該アコーディオンカーテンは別途工事とします。
30	壁 E P 範囲	A-06 A-39 A-40	仕上表 1階平面詳細図-1		1 F 講堂に於いて、仕上表壁に一部 E P 塗と記載がありますが範囲が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。 ・X 2 通り壁面 ・全ての柱型 ・器材庫 1、D S 周囲壁	ご理解のとおりです。
31	天井仕上げ	A-06 A-65	仕上表 天井伏図	Y2・3 通り	1 F M W C ・ W W C の天井仕上げが仕上表では D R (1) とありますが、天井伏図では D R (2) となっています。D R (1) が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D R (2) を正とします。
32	暗幕用カーテ	A-07	内部仕	暗室	3 F 暗室の仕上表にブライ	当該部分のブラインドは不要

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
	ンブラインド		上表(3)		ドの記載がありますが、暗幕カーテンレールのため、ブラインドは不要とし、暗幕用カーテンと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、暗幕用カーテンは別途工事と考えて宜しいでしょうか。本工事の際は、仕様・メーカー品番を御指示下さい。	とします。また、暗幕用カーテンは別途工事とします。
33	暗幕用カーテン	A-07	内部仕上表(3)	暗室	3 F 暗室の仕上表に暗幕用カーテンレールの記載がありますが、暗幕用カーテンは別途工事と考えて宜しいでしょうか。本工事の際は、詳細仕様・性能又はメーカー品番を御指示下さい。	当該暗幕用カーテンは別途工事とします。
34	設計 G L	A-14 A-121	立面図-1 外構図	1	立面図で設計 G L が 4 8 . 2 、外構図では 4 8 . 0 との記載があります。外構図 4 8 . 0 を正解と考えて良いでしょうか。御指示ください。	外構図の 4 8 . 0 を正とします。
35	外壁アルミカットパネル足元	A-17 A-86	断面詳細図-1 部分詳細図-10	東立面図 アルミスパンドレル詳細図	外壁アルミカットパネル足元には、アルミスパンドレルと同様の水切を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	カットパネルのため、当該水切は不要です。A-84 図の巾木と同様の納まりとします。
36	外壁アルミカットパネル目地	A-17	断面詳細図-1	東立面図	外壁アルミカットパネルは、目地シーリング(10*10)を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該目地シーリングは不要です。A-84 図を参照してください。
37	軒天アルミカットパネル下地鉄骨	A-17	断面詳細図-1	B断面詳細図 X10通り 薬品資源学2下	軒天アルミカットパネルで、一部下地 C-100*50*20*2.3 がありますが、表面は錆止塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	溶融亜鉛メッキとします。
38	構造計算書(梁の評価)	A-17, 84 S-16, 17 構造計算書	断面詳細図-1 部分詳細図-8 床伏図 構造計算書		1 階見上げ、2 階見上げ X 10 通り東側に設けられている跳ね出しスラブ廻りについて、当該スラブが取り付けられている梁の側面に 235mm の増し打ちがありますが、構造計算書には記載がありません。元設計に於いて剛性への加味は無いと考えて宜しいでしょうか。	跳ね出しスラブの吊り元の厚さは 250 にハンチ厚さ 250 で合計 500 としています。跳ね出し長さが大きいことでこのような設計としています。剛性考慮はしていません。
39	床下の防湿層	A-18	断面詳		風除室下部に P F 版 t 25 の	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
			細図		記載がありますが防湿シートポリエチレンフィルム t=0.15 も必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
40	地下二重ピット内堅樋	A-18	断面詳細図-2	X10通り B2FL ~ B1FL	X 1 0 通り地下二重壁内の堅樋の V P 管は、V P 管素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
41	ピット X 1 0 通り水抜き	A-18 A-30	断面詳細図-2 ピット詳細図	X10通り B2FL X10-Y1 ~4	ピット X 1 0 通り側に上部水抜きとありますが、断面詳細図-2 X 1 0 通りの図示より、地下 2 階に中継ドレインを見込み、堅樋をピットまで延長すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	地下 2 階 2 重壁内の排水として水抜きは必要です。
42	X 2 通りバルコニー巾木	A-21	断面詳細図	X2通り	X 2 通りバルコニーの建物側は、巾木塗膜防水 H=100 を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
43	ドライエリア排水溝	A-21 W-31	断面詳細図-1 B2 階平面詳細図-1	B2FL X0 ~1 X1 ~ 2- Y0~1	ドライエリア排水溝について、断面詳細図では W=150 ですが、平面詳細図では W=100 となっています。平面詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	断面詳細図を正とします。
44	ブラインドボックス	A-27 A-65	内部階段4詳細図 天井伏図-1	B断面詳細図 1階天井伏図	1 F ホールの A W-1 2 前に階段詳細図でブラインドボックスがありますが、天井伏図にはありません。必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該ブラインドボックスは必要とします。
45	階段排水溝	A-29	外部階段詳細図-2	A-A断面詳細図	階段排水溝は、モルタルの上塗膜防水と考え、R C 手摺取合部は巾木 H=100 を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
46	ピットオーバーフロー管	A-30	ピット詳細図	Y0-X8~ 9 X10-Y4 ~5	ピットにオーバーフロー管がありますが、平面上どの範囲まで見込むか不明です。御指示下さい。	A-128 図、B09 桝、A9 桝のオーバーフロー管とします。
47	ドライエリア機械基礎	A-31	B2 階平面詳細図-1	X1-Y1~ 2	ドライエリア機械基礎の仕上は、天端コンクリート金罫素地、立上り打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
48	ドライエリア	A-31	B2 階平	X0 ~ 1-	ドライエリアドレインには、	当該防護カバーは必要としま

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
	ドレイン		面 詳 細 図-1	Y0～1他	防護カバーは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	す。
49	壁種別	A-31	B2 階 平 面 詳 細 図-1		B 2 F 通路・検査廊下と前室 2 間、通路と S H-1 間の間仕切は壁種別記号の W 1 (1 0 0) と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
50	点字シート	A-31 A-87	B2 階 平 面 詳 細 図-1		B 2 F S H-1 等にある点字シートの記載がありますが詳細が不明です。部分詳細図-11 に記載のステンレス点字鋳同等と考えて良いでしょうか。御指示ください。	当該点字シートは塩ビ製タイルとします。
51	溜め桝	A-33 A-38	B2 階 平 面 詳 細 図-3 B1 階 平 面 詳 細 図-4	B2F飼育 室 B1F飼育 室	B 2 F 飼育室の溜め桝に於いて、蓋の記載がありませんが、B 1 F 飼育室は蓋の記載があります。B 2 F 飼育室も必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	地下 2 階飼育室の溜め桝の蓋は不要です。
52	仕切カーテン	A-36 A-65	B1 階 平 面 詳 細 図-2	OP室	B 1 F O P 室に於いて、天井伏せ図でカーテンレールの記載がありますが、仕切カーテンの実装に関する記載は見受けられません。仕切りカーテンは別途工事と考えて宜しいでしょうか。本工事に含む場合は詳細程度又はメーカー・品番を含めて御指示下さい。	当該仕切りカーテンは別途工事とします。
53	排水溝	A-38	B1 階 平 面 詳 細 図-4	B1F飼育 室1	B 1 F 飼育室 1 の排水溝に於いて、蓋の記載がある範囲と無い範囲があります。全ての範囲に必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	設計図どおりとします。
54	1 階 Y 1 - X 5・Y 4 - X 8 グレーチング	A-39 A-42 A-86	1階平面 詳細図- 1 1階平面 詳細図- 4 部 分 詳 細図-10	Y1-X5 Y4-X8 タラップ。 (Y4 通 り)	1 階 Y 1 - X 5・Y 4 - X 8 グレーチング及び下地の仕様は、部分詳細図-10 タラップ(Y 4 通り)に記載のあるグレーチングに倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
55	グ レ ー チ ン グ 蓋	A-40 A-121	1階平面 詳細図- 2 外構図		1 階平面詳細図-風除室 2 前に S U S グレーチングと記載がありますが、外構図凡例では亜鉛メッキグレーチングと相	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					違っています。風除室2前のグレーチングはS U Sグレーチングそれ以外は亜鉛メッキグレーチングと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
56	ゴミ置場ドレイン	A-41	1階平面詳細図-3	Y0～1-X6～8	ゴミ置場のドレインについて、平面詳細図でルーフドレイン(RD-T)とありますが、この部分には屋根から縦樋が落ちると考え、中継ドレインと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。また、径はφ65と考えて良いでしょうか。御指示ください。	ご理解のとおりです。
57	屋内縦樋	A-42	1階平面詳細図-4	X8-Y4	1階X8-Y4柱型横に屋内を通る縦樋がありますが、耐火二層管と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
58	靴拭きマット	A-42	1階平面詳細図	X10-Y3～4間	靴拭きマットの下地は、防水モルタルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
59	ハト小屋貫通部パネル	A-59	R階平面詳細図	全体	ハト小屋貫通部のパネルは、R階平面詳細図よりY1通りX3・4・6・7・8のハト小屋及びDS-OA、Y4通りX3・4・5・6・7のハト小屋及びDS-OAに必要と考え、その他階段廻りのハト小屋、X4～6-Y3のEPS・PS、Y1通りX5のDSには不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別紙3を参照してください。
60	建具詳細図	A-67 A-88	建具配置図2 部分詳細図12	Wetlavo 建具詳細	詳細図題にSD-40とありますが、当箇所にSD-40はありません。建具配置図よりSSD-02と読み替えて宜しいでしょうか。御指示ください。	ご理解のとおりです。
61	建具形状	A-68 A-72	建具配置図-2	R階配置図	R階配置図のみSD-12が親子開き扉となっていますが、建具表-4においては片開き扉となっています。R階SD-12はSD-35に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	SD12はW1200の親子扉とします。
62	ステンレス製	A-71	建具表-		ステンレス製建具の曲げ加工	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
	建具		3		は、普通曲げと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	
63	タイマー制御・電気錠	A-71 E-144 ～151	建具表-3 入 隊 管 理 室 設 備 シ ス テ ム 系 統 図 配 線 図		アルミ自動扉AD-01～10全ての建具金物欄にタイマー制御とありますが、AD-01、02、04、05において、タイマー制御に必要である電気錠の記載がありません。また、電気図配線図においては自動扉の電気錠はAD-05～AD-10のみとなっておりAD-03は開き戸部分のみ電気錠の配線が描かれています。電気図システム系統図及び配線図を正と考え、アルミ自動扉部においてはAD-05～10のみタイマー制御・電気錠を含むとし、AD-03は開き戸部分のみ電気錠を含むと考えると宜しいでしょうか。御指示ください。	AD-1～4の自動扉部分の電気錠は不要で自動扉付属のタイマー制御のみとし、AD-5～10は電気錠及びタイマー制御としてください。
64	建具詳細図	A-72 A-92	建具表4 LSD・SD 詳細図	SD・LSD 開 き 戸 詳細図	建具表4よりSD-31、32の建具形状・枠について部分詳細図参照とありますが、LSD・SD詳細図のSD・LSD開き戸詳細図参照と考えると宜しいでしょうか。その際SD-31、32はSD・LSD詳細図を仕様とし特防・遮音性能を有する建具と考えると宜しいでしょうか。不可の場合、仕様・詳細等御指示ください。	ご理解のとおりです。
65	ガラス厚み	A-74	建具表-6	ガラス欄	LSD-02他のガラスにF5とありますが、型板ガラスにt=5.0はありません。F6に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該型板ガラスはF6とします。
66	ガラリ部塗装	A-74	建具表-6	ガラリ欄	LSD-01、11においてガラリ欄の仕上げがSOPとなっております。建具仕上げが焼付塗装とありますので、他建具と同様にガラリ部も焼付塗装と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該ガラリ部も焼付塗装とします。
67	ガラス工事(スチールパーテーション)	A-76	建具表-8		PT-01～03のガラスにF5とありますが、型板ガラスにt=5.0はありません。F	当該型板ガラスはF6とします。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					6に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
68	溜め桧	A-77	部分詳細図-1	溜め桧排水溝	溜め桧内の仕上の記載が無く不明です。排水溝に倣い、防水モルタル塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
69	塗膜防水	A-78	部分詳細図-2	防油堤詳細図	B2F発電機室防油堤塗膜防水の仕様が不明です。ポリマーセメント系塗膜防水と考えて良いでしょうか。御指示ください。	ご理解のとおりです。
70	天井下地	A-81	部分詳細図-5	天井下地天井懐	天井懐内の水平・斜め補強の高さが屋内H $\geq$ 1300と記載がありますが、公共建築工事標準仕様書では1.5m以上となっています。標準仕様書に則り屋内H $\geq$ 1500と読替えて良いでしょうか。御指示ください。	当該天井懐内の水平・斜め補強の高さを屋内H $\geq$ 1500とします。ただし特記仕様書(4)記載の講堂及び2Fリフレッシュについては耐震天井となります。
71	天井下地	A-81	部分詳細図-5	天井下地天井懐	上記質疑に関係し屋内H $\geq$ 1500が正の場合、天井懐内水平補強は1500毎に、屋内H $\geq$ 1300が正の場合、天井懐内水平補強は1300毎に発生すると考えて良いでしょうか。御指示ください。	ご理解のとおりです。
72	屋根アルミパネル	A-83	部分詳細図-7	屋根アルミパネル詳細図	屋根アルミパネルの電解着色塗装は、特記仕様書のB-1種(マット)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
73	屋根アルミパネル下地	A-83	部分詳細図-7	屋根アルミパネル詳細図	屋根アルミパネル下地アングルは、錆止塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該屋根アルミパネル下地アングルは溶融亜鉛メッキとします。
74	軒先アルミルーバー下地金物	A-83	部分詳細図-7	パラペット廻り詳細図	軒先アルミルーバーの下地金物について、部分詳細図-7のY5・0通り付近の詳細図ではH鋼にC-100*50*20*1.6及びFB-150*6ですが、B部詳細図ではL-125*75*7となっています。H鋼部分はC-100*50*20*2.3及びFB-150*6を各通しと考え、RCスラブ取合部がL-125*75*7ステンレスインサー	B部詳細図 L-125*75*7を正とします。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					トM12@900と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
75	底1・2 堅樋	A-84	部分詳細図-8	平面図	底1・2からの堅樋VPφ50は、VP管素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	底1はカラーVPとし、底2は素地としてください。
76	鼻先アルミカットパネル下地	A-84 A-91	部分詳細図-8 サッシ詳細図-2	アルミカットパネル詳細図 鼻先部 風除室オートドア詳細図	鼻先アルミカットパネルの下地について、部分詳細図ではスチールL-130*34*3.2ですが、サッシ詳細図-2ではスチールL-274*34*3.2となっています。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-91図を正とします。
77	DS-OA目隠しルーバー	A-85	部分詳細図-9	DS-OAバルコニー廻り詳細図	DS-OA部目隠しルーバーの電解着色塗装は、メーカー標準色と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
78	DS-OAパラペット	A-85	部分詳細図-9	DS-OAバルコニー廻り詳細図	DS-OAバルコニー先端見付の仕上は、FLより上はウレタン塗膜防水、FLより下は打放補修と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該ウレタン塗膜防水は立上り天端までとします。
79	メカニカルバルコニー床	A-85 S-43	部分詳細図-9 メカニカルデッキ鉄骨詳細図	メカニカルバルコニー詳細図 Y0・5通りメカニカルデッキ鉄骨詳細図	メカニカルバルコニー床について、部分詳細図ではエキスパンドメタルですが、構造図のメカニカルデッキ鉄骨詳細図ではグレーチングとなっています。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	部分詳細図を正とします。
80	メカニカルバルコニー床	A-85	部分詳細図-9	メカニカルバルコニー詳細図	メカニカルバルコニー金属床の仕上は、溶融亜鉛メッキと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
81	ゴミ置場折板屋根	A-85	断面詳細図-4 部分詳細図-9	H断面詳細図 ゴミ置場詳細図	ゴミ置場折板屋根カラーガルバリウム鋼板の厚みについて、断面詳細図ではt=0.4ですが、部分詳細図のゴミ置場詳細図ではt=0.6となっています。断面詳細図を正と考え、水切・鼻隠し等もt=0.4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-85図を正とします。
82	ゴミ置場屋根	A-85	部分詳細図	ゴミ置場	ゴミ置場屋根鼻隠し下地鉄骨	当該ゴミ置場屋根鼻隠し下地

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
	鼻隠し下地		細図-9	詳細図	は、見隠れの為、錆止塗装と 考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	鉄骨は溶融亜鉛メッキとしま す。
83	ゴミ置場屋根 ケラバ水切	A-85	部 分 詳 細図-9	ゴミ置場 詳細図	ゴミ置場屋根ケラバ水切金物 の仕様は、水上と同仕様と考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	ご理解のとおりです。
84	ゴミ置場縦樋	A-85	部 分 詳 細図-9	ゴミ置場 詳細図	ゴミ置場折板屋根からの縦樋 は、カラーVPと考えると宜し いでしょうか。御指示下さ い。	ご理解のとおりです。
85	ゴミ置場排水 溝	A-85	部 分 詳 細図-9	ゴミ置場 詳細図	ゴミ置場排水溝の仕上は、防 水モルタル金鰹と考えると宜 しいでしょうか。御指示下さ い。	ご理解のとおりです。
86	ハト小屋貫通 部パネル面防 露材	A-86	部 分 詳 細図-10	屋上配 管スペース 立上り 詳細図	ハト小屋スチールパネルの表 面仕上は、溶融亜鉛メッキ仕 上と考えると宜しいでしょ うか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
87	ハト小屋貫通 部パネル面防 露材	A-86	部 分 詳 細図-10	屋上配 管スペース 立上り 詳細図	ハト小屋配管貫通部パネル裏 面防露材は、グライトt=5. 0と考えると宜しいでしょ うか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
88	Y0通りB1 階タラップ	A-86	部 分 詳 細図-10	タラップ° (Y0 通 り)	ドライエリアY0通りB1階 タラップの防護柵は、H=2 400程度が必要と考えると 宜しいでしょうか。御指示下 さい。	図面どおりとします。
89	B1階Y4通 りグレーチ ング	A-86	部 分 詳 細図-10	タラップ° (Y4 通 り)	B1階Y4通りグレーチング について、タラップ(Y4通 り)詳細図の平面図では溶融 亜鉛メッキですが、断面図 ではステンレスとなっています。 溶融亜鉛メッキを正と考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	当該B1階Y4通りグレーチ ングは溶融亜鉛メッキとしま す。
90	SD7・SS0 2 取合方立カ バー下地金物	A-88	部 分 詳 細図-12	B2階熱 源機械 室出入 口	B2階熱源機械室出入口サッ シSD7・SS2取合方立カバ ー下地金物の表面は、錆止塗 装と考えると宜しいでしょ うか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
91	ホワイトボー ド補強材	A-88	部 分 詳 細図-12	ホワイト ボード	LGS間仕切面に取付の場合 の下地補強詳細が不明です。 亜鉛鋼板t=1.6 H=30 0を上下2段、ホワイトボー ドW寸法で見込むと考えると良	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					いでしょうか。御指示ください。	
92	サイン数量	A-115 ～118	サイン案内 図 サイン詳細 図	A-118 左上、A- 118 上	サイン ⑦室名サイン及び⑨室 名サインの数量が案内図と詳 細図で下記のように相違してい ます。案内図の数量を正と考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。 サイン案内図 サイン詳細図 2 1 0 1 3 1 2 9 1 2 6	案内図の数量を正とします。
93	床板下の地業	A-120	医ガスボン ベ庫・ 自 転 車 置 場 詳 細図		医・ガスボンベ庫床板下の地業 は捨てコン50・砕石150と 考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	ご理解のとおりです。
94	医 ガスボンベ 庫屋根ケラバ 包み	A-120	医ガスボン ベ庫・ 自 転 車 置 場 詳 細図	a部詳細 図	医ガスボンベ庫詳細図のa部 詳細図で、水上部分鼻隠しの 詳細がありますが、ケラバも 同仕様と考えて宜しいでしょ うか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
95	医 ガスボンベ 庫屋根タイト フレーム受け	A-120	医ガスボン ベ庫・ 自 転 車 置 場 詳 細図	A-A断面 図	医ガスボンベ庫内屋根タイト フレーム受けのC-100*5 0*20は、C-100*50 *20*2.3と考えて宜しい でしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
96	医 ガスボンベ 庫屋根下地鉄 骨	A-120	医ガスボン ベ庫・ 自 転 車 置 場 詳 細図	A-A断面 図	医ガスボンベ庫内屋根下地鉄 骨H-150*150*7*1 0の短辺方向は、4本と考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	ご理解のとおりです。
97	医 ガスボンベ 庫屋根下地鉄 骨下無収縮モ ルタル	A-120	医ガスボン ベ庫・ 自 転 車 置 場 詳 細図	B部詳細 図	医ガスボンベ庫内屋根下地鉄 骨下無収縮モルタルは150 角と考え、両端に1ヶ所ずつ 計8ヶ所見込むと考えて宜し いでしょうか。御指示下さ い。	当該屋根下地鉄骨下無収縮モ ルタルは隙間のすべての部分 とします。
98	医 ガスボンベ 庫内壁	A-120	医ガスボン ベ庫・ 自 転 車 置 場 詳 細図	A-A断面 図	医ガスボンベ庫内壁の仕上 は、フッ素樹脂撥水剤と考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	ご理解のとおりです。
99	インターロッ キング舗装	A-121 A-122	外構図 外 構 部 分 詳 細 図-1		外構部分詳細図-インターロッ キングブロック舗装詳細図に 歩行用と車道用とありますが、 範囲使い分けが不明で	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					す。東面乗り入れに取合う範囲が車道用、消防活動空地を除く南面が歩行用と考えて良いでしょうか。御指示ください。	
100	緑化ブロック	A-121 A-122	外構図 外 構 部 分 詳 細 図-1		緑化ブロック～インターロッキング舗装間に見切りが不明です。縁石-2を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
101	メーカー名・仕様	A-121	外構図		・遮熱、透水性インターロッキングブロックの詳細仕様が不明です。参考メーカー・品番ありましたら御指示ください。	太平洋プレコン工業㈱オーシャンクールテック・エコスルー同等品とします。
102	コンクリート擁壁	A-122	外 構 部 分 詳 細 図-1		コンクリート擁壁仕上：コンクリート打放の上、吹付仕上とありますが吹付仕上の仕様が不明です。複層塗材E程度と考えて良いでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
103	埋設タンク	A-124	外 構 部 分 詳 細 図-3	A-A断面 図	埋設タンク上部土間スラブ下を示す形で防水施工の記載がありますが詳細・仕様が不明です。施工も困難と思われますので上部土間スラブに対する防水はB-B断面に記載の防水モルタル厚15と考えると良いでしょうか。スラブ下に防水が必要な場合、詳細仕様を含め御指示ください。	ご理解のとおりです。
104	共同溝	A-125	外 構 部 分 詳 細 図-4		共同溝のピット内の仕上が不明です。床：コンクリート金鋺押エ、壁：コンクリート打放補修のままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
105	山留め計画	A-125	外 構 部 分 詳 細 図-4	下段 共 同 溝 詳細図	共同溝詳細図に自立式土留工；近接施工用鋼矢板と記載がありますが、指定仮設でしょうか？施工者判断としても宜しいでしょうか？	当該仮設は任意仮設とします。
106	現況レベル	A-126	外 構 撤 去 平 面 図		外構撤去図にて現況高さの記載がありますが、盛り土等があり現況に則していないよう思われます。建設工事着手時の詳細な現況地盤資料を御提示ください。	別紙2を参照してください。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
107		A-126	外 構 撤 去 平 面 図	敷 地 西 側	現地を確認したところ、C B 塀撤去(7.2 m)が見当たりま せん。基礎とも撤去済みで本 見積項目から削除すると考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	上部のみ撤去済みであり、基 礎部分の撤去は本事業の業務 範囲とします。
108		A-126	外 構 撤 去 平 面 図	敷 地 南 西	現地を確認したところ、敷地 南西に地中障害物を確認しま した。撤去処分を本見積りに 含む場合、形状を御指示下 さい。	別紙2を参照してください。
109		A-126	外 構 撤 去 平 面 図	南 面 敷 地境界	現地を確認したところ、南面 敷地境界のコンクリート塀撤 去(80.0 m)において2箇所 撤去されていました。基礎と も撤去済みで数量を減すると 考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	上部のみ撤去済みであり、基 礎部分の撤去は本事業の業務 範囲とします。
110		A-126	外 構 撤 去 平 面 図	敷 地 北 西	現地を確認したところ、コン クリート擁壁撤去(3.8 m)の 南側にL=7.6 m程度コンク リート擁壁が続いています。 同じく撤去するものと考えて 宜しいでしょうか。御指示下 さい。	ご理解のとおりです。
111		A-126	外 構 撤 去 平 面 図	敷 地 西 側	上記のコンクリート塀延伸部 先端附近にコンクリート側溝 (グレーチング蓋)ありますが、 撤去処分するものと考えて 宜しいでしょうか。御指示 下さい。	ご理解のとおりです。
112		A-126	外 構 撤 去 平 面 図	西面、南 面敷地 境界	西面および南面敷地境界の仮 設ネットフェンスは、払し・近 辺に集積を本見積りに含み、 敷地外への移動は別途と考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	当該仮設ネットフェンスは撤 去から処分までを本事業の業 務範囲とします。
113	柱H O O P の 形状	S-1 S-34	構 造 特 記 仕 様 書 柱リスト	5章4-2	柱H O O P の形状について、 構造特記仕様書／5-4-2で はH型の指示がありますが下 記と考えて宜しいでしょう か。御指示下さい。 ・一般部 外周 溶接閉鎖型・中 子 タガ型 ・仕口部 外周 H型(タガ型)・ 中子 無し	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
114	床板下の地業	S-1 A-18	構 造 配 筋 標 準 図 断 面 詳 細図		土間スラブ下の地業厚さが構造特記仕様書では捨てコン t 50 砕石 t 60 ですが風除室床板下部の地業厚は、砕石 t 150 砂30と相違しております。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正とします。
115	梁貫通孔補強	S-1	構 造 特 記 仕 様 書(1)	5章4-3	人通孔以外の梁貫通孔補強は既製品を使用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
116	生コン配合計画	S-01	構 造 特 記 仕 様 書(1)	6章1-1-a	F c 21,スランプ18は単位水量は185kg/m3を超えます。F c 21の高性能AE減水剤の設定はありませんので、F c 24,スランプ18高性能AE減水剤に読み替えると考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。	F c 21 S 15 A E 減水剤使用とします。
117	コンクリート防水剤使用範囲	S-2	構 造 特 記 仕 様 書	6章3-4	コンクリートに防水剤を使用する範囲は、土に接する柱・梁(地中梁含む)・壁及び耐圧版のみと考え、その周囲のコンクリートに防水剤は見込まないもの(打継ぎで対応)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
118	高性能AE減水剤	S-2	構 造 特 記 仕 様 書(2)	6章3-3	高性能AE減水剤の適用範囲はコンクリート強度F c 36のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
119	機械式定着板施工位置	S-6 S-42	構 造 配 筋 標 準 図 架 構 配 筋図	構 造 概 要	梁の定着板施工位置について、2G～RGの柱への定着部に定着板使用の指示がありますが、柱の外端部の上下主筋(最上階 上端筋は定着板なし)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ※柱頂部は記述通り計上・梁柱共にD25以上	ご理解のとおりです。
120	補強要領不明	S-12	基 礎 伏 図		EVピットの耐圧版の増打ちの補強要領が不明です。D13@200ダブルクロスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
121	スラブ符号詳細不明	S-14 S-36	各階伏図 床版リスト		屋内階段踊場のスラブ符号について、伏図ではS6・S7の指示がありますが詳細が不明です。S9に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S6, S7はスラブ厚さ=150、長辺配筋：D10D13@200(D)、短辺配筋：D10@200(D)とします。
122	スラブ符号詳細不明	S-15	1階床伏図		X8～9、Y3～4通り間には、スラブS8の指示がありますが詳細が不明です。スラブS5に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S8はS5と同様とします。
123	スラブ符号詳細不明	S-16	2階床伏図		X9～10、Y3～4通り間には、スラブS10の指示がありますが詳細が不明です。S1と読み替えて宜しいでしょうか。又、S10の場合は詳細も併せて御指示下さい。	S10はスラブ厚さ=250、短辺配筋：D13@100(D)、長辺配筋：D10@200(D)とします。
124	スリット	S-16			突出壁とスリット入り壁の接続部縦スリットの詳細が不明です。スリットt=25と考えて宜しいでしょうか。又、スリット振れ止め筋は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該スリットはt=25とし、振れ止め筋はD10@400(S)とします。
125	構造計算書(柱の評価)	S-16, 17 構造計算書	床伏図 構造計算書		1, 2階X10 Y2, 3通り柱の軸剛性ですが、1.4倍に割増されております。当該柱にはY2柱で1, 2階、Y3柱で2階に袖壁が付いております。軸剛性割増は袖壁に起因すると考えて宜しいでしょうか。その際、①袖壁の設置状況が異なるY2, 3柱で評価が同等であること②曲げ剛性への加味が無いことについて、元設計者の判断(見解)を御教示ください。	X10通りのY2軸の1, 2階柱とY3軸の2階柱は、袖壁の影響を考慮して柱の剛性を計算しています。剛性の増加率は、曲げ及びせん断の剛性を増加させ、軸剛性は増加させていません。(一貫計算頁284/1887)
126	梁符号不明	S-17 S-46	3階床伏図 PC大梁リスト		X9、Y4～5通りには梁CGCPG11の指示がありますが詳細が不明です。CPG1と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
127	大梁STPの形状	S-35 S-46	大梁リスト PC大梁リスト		大梁STPの形状について、SD295Aは全てタガ型、高強度せん断補強筋の場合は外周 溶接閉鎖・中子 タガ型と	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
128	補強要領不明	S-38	配 筋 詳 細図2		地中梁F G 1 1に人通孔がありますが、補強要領がありません。F G 1の基礎梁人通孔補強筋に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
129	屋 上 ル ー バ ー 鉄骨	S-39	屋 上 ル ー バ ー 鉄 骨 詳細図		桁行鉄骨小梁詳細図・桁行鉄骨 架構詳細図の右断面図に継手 (支柱より450離れ)の図示 がありますが範囲が不明で す。範囲を御指示下さい。	当該継手は屋上ルーバー鉄骨 の片持ち部を想定しており、 施工上必要なければ不要とし ます。
130	ベースプレート	S-40	階 段 鉄 骨 詳 細 図		屋内階段3 ササラ桁取付け図 でベースプレート 250*2 22*16と250*444 *16がありますが、ササラ 受けのベースプレートは25 0*222*16と考えて宜 しいでしょうか。又、250 *444*16が必要な場合 は使用箇所を御指示下さい。	当該ササラ受けのベースプレ ートは250*222*16 とします。
131	ベースプレート	S-43	アルミルーバ ー指示鉄 骨		2F・RFのRC床版とアルミ ルーバーの支持柱取合いは貫 通ボルトではなくアンカーボ ルト 2-M20(L=20d) と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	設計どおりとします。
132	アンカーボルト・ベースプレート	S-43	ゴミ置き 場屋根 支持鉄 骨詳細 図		RC壁に取合うアンカーボルト 2-M16の長さが不明です。L=20dと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該ボルトは貫通ボルトとして ください。
133	山留め計画	S-52 ~S-56	SMW・乗 入構台 平断面図 切梁平 断面図	全体	山留め計画及び、構台計画 は、あくまで参考と考えて宜 しいでしょうか？	ご理解のとおりです。
134	施工方法	S-52	SMW・乗 入構台 平面図	左下	“既存マンホールの底まで穿 孔掘削を行い”とありますが、マンホールの外部を現し とし、マンホールが破損しないように十分養生し、注意し てSMWの施工をするという 意味で、宜しいでしょうか？	ご理解のとおりです。
135	空調機HEP	M8	空調設	右下	ACU-B2-1、ACU-B1	研究計画の変更により、無菌

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
	Aフィルター		備 機 器 表(3)		- 1、ACU-B 1-2 について、空気調和機参考図にHEPAフィルター(将来設置)との記載がありますが、いつ、どのような時に設置が必要になると想定されているのでしょうか。	動物を飼育することになった場合に設置する想定です。
136		M-14 M-53			機器表と平面図で機器型式が異なっています。機器表を正として宜しいでしょうか。 HEU-3-1 ①機器表 カセット型 ②平面図 天井吊込型	機器表を正とします。
137		M-15 M-49			機器表に記載の機器が平面図に記載がありません。平面図を正として宜しいでしょうか。 ハロンボンベ庫CF-B 2-3 ①機器表 1台 ②平面図 記載無し	機器表を正とします。平面図は別図を参照してください。
138		M-15 M-49			機器表に記載の機器が平面図に記載がありません。平面図を正として宜しいでしょうか。 通信機械室CF-B 2-4 ①機器表 1台 ②平面図 記載無し	機器表を正とします。平面図は別図を参照してください。
139	フィルターユニット	M16	換 気 設 備 機 器 表(3)	左下	空調換気設備機器表-(4)に記載のFU-1、FU-2、FU-3、FU-4について、フィルターの取替については、維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	番号143への回答を参照してください。
140		M-45			B 2 Fカンファレス、会議室、教員室の制気口リストに記載がありません。ご指示下さい。	機器表を正(天井カセット形)とします。
141		M-48			「特記なきチャンバーボックスは建築工事とする」とありますが、空調設備でチャンバー工事が発生するのは以下のガラリと考えて宜しいでしょうか。 OAG-B 2-1、OAG-B 2-2、EAG-B 2-1、EAG-B 2-2、EAG-B 2-3	ご理解のとおりです。
142		M-48			EAG-B 2-1、EAG-B 2-2、EAG-B 2-3の断熱が記	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					載されていませんが、外貼 25 t を断熱すると考えて宜しいでしょうか。	
143	安全キャビネット クリーンベンチ ドラフトチャンバー	M115	衛生設備機器表(特殊機器)		安全キャビネット、クリーンベンチ、ドラフトチャンバーに関して、図面には記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	本事業の施設整備業務で設置された各種設備等(付帯設備を含む、以下同じ。)は、特段の記載がない限り、すべて本事業の建築設備保守管理業務の対象となります。当該各種設備等については、【資料 1 実施設計図書】で確認してください。したがって、【資料 1 実施設計図書】に記載のない各種設備等については、本事業の建築設備保守管理業務の対象となることはありません。なお、要求水準書の各業務の「要求水準(項目、内容等)」は、本事業の建築設備保守管理業務の対象のうち、主なものについてのみ記載したものです。
144	安全キャビネット クリーンベンチ ドラフトチャンバー	M115	衛生設備機器表(特殊機器)		安全キャビネット、クリーンベンチ、ドラフトチャンバーについて、実験・研究内容等により使用時間は異なると思いますが、おおよその目安で構いませんので、それぞれの使用頻度(時間)をご教示下さい。	一般的には研究棟の稼働時間(平日 8:30~17:15)に使用する想定ですが、実験計画に左右されて流動的であり、研究内容によっては 24 時間稼働する可能性があることから、その可能性も踏まえて想定してください。
145	特殊給水設備	M146 ~M148	特殊給水設備		特殊給水設備に関して、図面には記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	番号 143 への回答を参照してください。
146	ヘリウム回収配管設備	M153	特殊ガス設備		ヘリウム回収配管設備について、図面には記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	番号 143 への回答を参照してください。
147	高圧蒸気滅菌装置	M157	特殊機器設備(参考図)		高圧蒸気滅菌装置に関して、図面には記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	番号 143 への回答を参照してください。
148	手術室設備	M158	特殊機		手術室設備に関して、図面に	番号 143 への回答を参照し

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
			器設備		は記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	てください。
149	MR I 設備	M159 ～M164	特 殊 機 器設備 (参 考 図)		MR I 設備に関して、図面には記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。また、MR I 用チラーシステムに関しても維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	番号143への回答を参照してください。
150	C T 室設備	M165	特 殊 機 器設備 (参 考 図)		C T 室設備に関して、図面には記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	番号143への回答を参照してください。
151	アンギオ室設備	M166	特 殊 機 器設備 (参 考 図)		アンギオ室設備に関して、図面には記載されていますが、特殊設備であることから維持管理業務管理対象外との理解でよろしいでしょうか。	番号143への回答を参照してください。
152	コンクリート 強度	共通			防水押えコンクリートの強度はF c 18、S-15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
153	止水板	特2号 A-04	特 記 仕 様書(2) 外 部 仕 上表・凡 例表	(6.14.1) 一 般 共 通 事 項 防 水 及 びシー リング 工 事	止水板について、特記仕様書では塩ビ製ですが、仕上表の一般共通事項では非加硫ブチルゴム系W=200となっています。仕上表の一般共通事項を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上表の一般共通事項を正とします。
154	アルミニウム 表面処理	特3号	特 記 仕 様書-3	アルミニウム 及びアルミ ニウム合 金の表 面処理	アルミニウムの表面処理でB-1種(マット)との記載がありますが、B-1種つや消しと考えて良いでしょうか。御指示ください。	ダイスマークを処理したものとします。
155	外壁アルミカ ットパネル	特3号 A-14	特 記 仕 様書(3) 立面図- 1	(14.6.2) 凡例⑤	外壁アルミカットパネルについて、特記仕様書金属工事14.6.2表の3段目にリン酸処理仕上とありますが、該当部が不明です。該当無しと考えて良いでしょうか。該当部位がある場合、詳細部位を含	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
					め御指示ください。	
156	アルミ製堅樋	特3号	特記仕様書(3)	(13.5.2)	特記仕様書(3)屋根及びとい工事のといの材料で、アルミ製堅樋の記載がありますが、図面上に見当たりません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
157	アルミ製堅樋	特3号	特記仕様書(3)	(13.5.2)	上記質疑に関連して、必要であれば、設置場所を御指示下さい。	番号156への回答を参照してください。
158	溶融亜鉛メッキ	特3号 A-04	特記仕様書(3)外部仕上表・凡例表	(14.2.3)一般共通事項金属工事	溶融亜鉛メッキについて、特記仕様書ではA種ですが、外部仕上表・凡例表一般事項の金属工事では、屋上・塔屋廻りの目隠しルーバー用鉄骨組材はB種とするとあります。、外部鉄骨は全てB種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。また、手摺等の溶融亜鉛メッキもB種と考えて宜しいでしょうか。また、A種・B種とは1種A又は1種Bと考えて良いでしょうか御指示下さい。	ご理解のとおりです。
159	アルミ金物表面処理	特3号	特記仕様書(3)	(14.2.3)	外部アルミ金物の表面処理について、特記仕様書(3)金属工事14.2.3で成形板・笠木・建具以外B-1種(マット)とありますが、笠木等メーカー規格品はメーカー仕様標準色と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具、アルミカットパネル以外は標準色とします。 建具、アルミカットパネルについてはB-1種(マット)とします。
160	ポリマーセメント系塗膜防水	特3号	特記仕様書(3)	9章防水工事	ポリマーセメント系塗膜防水の仕様が不明です。詳細仕様又は参考メーカー・品番等を御指示ください。	大関化学工業(株)パラテックス B-2 工法同等品とします。
161	スライディングウォール	特4号 A-93～96	特記仕様書(4)スライディングウォール詳細図-1～4	20.2.4	特記仕様書のスライディングウォール仕様・製造所の建具符号について、SLW-1, 2はSLW-1, 2, 3、SLW-3はSLW-4、SLW-4はSLW-5に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ご理解のとおりです。
162	スライディングウォール	特4号 A-76 A-96	特記仕様書(4)建具表-	20.2.4	SLW-5の表面仕上げが、特記仕様書(CL(1))と建具表・スライディングウォール詳細	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
			8 スライディングウォール 詳細図-4		図(クロス貼)で異なります。 建具表・スライディングウォール 詳細図(クロス貼)を正と考 えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	

< ⑨ その他に関する質問回答 >

番号	質問項目	-	-	-	-	-	-	-	質 問	回 答
163	特殊フィルターについて								【入札説明書に関する質問回答(1回目)等(平成27年3月17日)19ページの番号91】には「特殊フィルターの点検は選定事業者の維持管理業務範囲内」との記載があり、【要求水準書16ページ 表の20枠目】には「特殊空調フィルター清掃の熱源機械室側は事業者、実験室・動物室側は大学」と記載されています。各々に記載のフィルターが同一のものであるとすれば、各々の作業内容説明に差異があると読み取れますが、これらのフィルターの所在と事業者にかかる具体的な作業内容をご教示願います。 また、これらが同一のものであるとすれば、図面M-16>機器表-(4)に記載のフィルターユニットの脱臭用およびH E P Aフィルターを指すものとの理解でよろしいでしょうか。	ご質問の前段については、入札説明書に関する質問回答(1回目)等はフィルターの点検に関する記述ですが、要求水準書はフィルターの清掃に関する記述であり、それぞれの記載に差異はありません。また、各種フィルターの所在は【資料1 実施設計図書】を参照してください。 ご質問の後段については、本事業の施設整備業務において設置されたものは、特段の記載がない限り、フィルターの種別を問わずすべて本事業の建築設備保守管理業務の対象となります。
164	入退室管理設備システム								【入札説明書に関する質問回答(1回目)等(平成27年3月17日)27ページの番号125】には、「機械警備設備をリース又はレンタルによる調達とすることは、特に問題ありません。なお、本施設とともに薬学部総合研究棟及び薬学部本館に機械警備設備を設置する費用は、維持管理業務に含める(事業契約の完了時に撤去する)ものとしていることに留意してください。」とありますが、この機械警備設備の中	ご質問の「入退室管理設備システム」が実施設計図書に含まれるものであれば、設置費用は建設費に含めるべきものであり、かつ事業期間終了時に撤去するものではありません。それとは別に事業者の提案により、警備業務のために実施設計図書に記載の無い「入退室管理設備システム」を設置するのであれば、その設置費用及び事業完了時に撤去する費用は維持管理業務に含めるものとします。

番号	質問項目	-	-	-	-	-	-	-	質 問	回 答
									には入退室管理設備システムは含まれるのでしょうか。含まれるのであれば、設置費用及び事業完了時に撤去する費用も維持管理業務に含めるのでしょうか。	
165	敷地北側の駐輪場部分の借用について								本工事建物敷地の北側の駐輪場部分について、一時借用することは可能でしょうか。可否をお教えてください。	可能ですが、貸与する条件及び範囲、期間等については、監督職員と協議のうえ決定するものとします。
166	平成27年3月17日公表の第1回質問回答No.246	-	-	-	-	-	-	-	平成25年11月5日公表の実施方針は今回の再公告に効力はあるとの理解でよろしいでしょうか。平成27年3月17日公表の「入札説明書等に関する質問回答(1回目)」No.246では「質疑回答」のみへの回答であったため、再度質問いたします。	ご指摘の「実施方針」は、大学と選定事業者の協議においても、今回の公告(再公告)にあたって、正式な(拘束力のある)書類として扱わないものとします。

※ 上記の回答にともない、既に提供している「参考数量内訳書」の内容が変更になりますので、入札参加グループ宛に、当該変更後の「参考数量内訳書」を電子メールにて送付しますので、入札書等及び提案書の作成にあたっては、当該変更後の「参考数量内訳書」に基づいてください。

入札説明書等に関する追記事項

1 「要求水準書」について、下記のとおり変更します。

No.	資料名称・図面番号	変更事項
変更1	要求水準書 P16	「主な業務の頻度等」にフロンガス排出抑制法（平成27年4月1日施行）に基づく「冷凍空調機器簡易定期点検」「4回／年」を追加します。
変更2	A-67、A-68、 A-69	2～5階Y0通りX9－X10間のAW-05 8箇所を建築基準法告示第1369号に基づく防火設備に変更いたします。
変更3	構造計算書	建築基準法第18条第3項の規程による計画通知書申請に伴う行政庁指導により構造計算書に修正が生じたので、構造計算書一式を差し替えます。

※ 上記の変更3にともない、既に提供している「構造計算書」の内容が変更になりますので、入札参加グループ宛に、当該変更後の「構造計算書」を電子メールにて送付します

2 事業契約の締結後に、一部分について仕様変更を予定していますので、入札参加グループ宛に、当該仕様変更の「参考資料」を電子メールにて送付します。なお、当該仕様変更の「参考資料」は、今回の入札には一切関係しないものであり、入札書等及び提案書の作成にあたっては、絶対に反映（関係）させないでください。

以上

様式第二（第十九条第一項関係）（A4）

景観地区内における建築物の計画の通知書

平成 26 年 3 月 24 日

印

（あて先） 京都市長

申請者 住所 京都市左京区吉田本町 36 番地の 1

氏名 国立大学法人 京都大学学長 松本 紘

景観法 6 6 条第 2 項の規定により、下記のとおり計画を通知します。

記

1 建築等工事主等の概要

(1) 建築等工事主

イ 氏名のフリガナ カリタダ 信 孝
 ロ 氏名 国立大学法人 京都大学学長 松本 紘
 ハ 郵便番号 606-8501
 ニ 住所 京都市左京区吉田本町36番地の1
 ホ 電話番号 075-753-2340

(2) 設計者

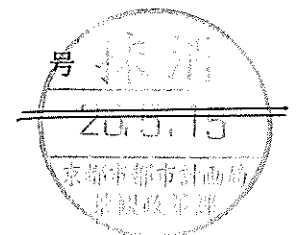
イ 資格 (1 級) 建築士 (大臣) 登録第 187767 号
 ロ 氏名 国立大学法人 京都大学施設部整備課 課長 出井 文彦
 ハ 建築士事務所名 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 ニ 郵便番号 606-8501
 ホ 所在地 京都市左京区吉田本町36番地の1
 ヘ 電話番号 075-753-2340

(3) 工事監理者

イ 資格 (1 級) 建築士 (大臣) 登録第 187767 号
 ロ 氏名 国立大学法人 京都大学施設部整備課 課長 出井 文彦
 ハ 建築士事務所名 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 ニ 郵便番号 606-8501
 ホ 所在地 京都市左京区吉田本町36番地の1
 ヘ 電話番号 075-753-2340

(4) 工事施工者

イ 氏名 未定
 ロ 営業所名 建設業の許可 () 第 号
 ハ 郵便番号
 ニ 所在地
 ホ 電話番号



昭 25 通 164 号

2 計画の内容

- (1) 建築物の建築等の場所 左京区 吉田下阿達町46番地の29
(2) 建築物の建築等の種別 増築
(3) 建築物の概要

■共通事項

敷地面積: 19,339.17 m²
建築面積: 1,935.73 (既存部分: 4,488.37) m²
延床面積: 11,909.76 (既存部分: 17,751.48) m²

■各計画建物の詳細事項

・医薬系総合研究棟

用 途: 大学
構 造: 鉄筋コンクリート 造
規 模: 地上5階 地下2階 建て
建築面積: ~~1,897.81~~ m² 都景景
延床面積: 11,888.10 m² 11,896.86
軒 高: ~~19.01~~ m 18.96
高 さ: ~~18.96~~ m 19.91

・渡り廊下

用 途: 大学
構 造: 鉄骨造
規 模: 地上1階 建て
建築面積: 16.26 m²
延床面積: - m²
軒 高: 4.670 m
高 さ: 4.977 m

・自転車置場

用 途: 大学
構 造: 鉄骨 造
規 模: 地上1階 建て
建築面積: 13.44 m²
延床面積: - m² (容積率対象外)
軒 高: 1.805 m
高 さ: 2.305 m

・医ガスボンベ庫

用 途: 大学 RC
構 造: EB 造 景景
規 模: 地上1階 建て
建築面積: 8.22 m²
延床面積: 8.22 m²
軒 高: 2.18 m
高 さ: 2.335 m



(4) 建築物の形態意匠の内容

・医薬系総合研究棟

屋 根：(形状) 陸屋根

(仕上げ材料)：遮熱シート防水 (色彩)：N7

(形状) 勾配屋根形状の屋上修景装置を設置

(仕上げ材料)：アルミパネル (色彩)：N8.5 4.5

(仕上げ材料)：アルミルーバー (色彩)：N8.5

外 壁：(仕上げ材料) (色彩)

東：アルミカットパネル N8.5

アルミスパンドレル N8

東・北・南・西：化粧型枠コンクリート打放しの上、フッ素樹脂撥水材吹付

コンクリート打放し補修の上、DP塗 N8.5、N4 , 0.5R 8.5/0.5

東：アルミカットパネル リン酸処理仕上 N6.5

・渡り廊下

(仕上げ材料)：アルミ既製品 (色彩)：N8.5

屋根 : N4.5
支柱 : スチールカラー

・自転車置場

(仕上げ材料)：アルミ既製品 (色彩)：N8.5

・医ガスボンベ庫

屋 根：勾配屋根 (折板)

(仕上げ材料) (色彩)

カラーバリウム鋼板 N4

外 壁 等：(仕上げ材料) (色彩)

外壁：化粧ブロック積み 化粧型枠 N8.5

柱：鉄部 DP塗 打放しの上、 N8.5

都景景
化粧型枠
打放しの上、
フッ素樹脂撥水材吹付

(5) 着手予定日 平成26年 10月 1日

(6) 完了予定日 平成28年 5月 31日

(7) その他必要な事項 (変更申請を行う場合、変更前の認定番号・日付及び変更内容を記載すること)

(8) 備考 (工事名等を記載すること)

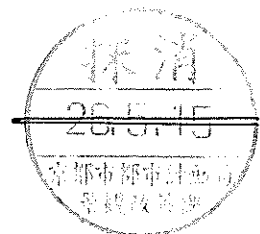
京都大学 (南部) 医薬系総合研究棟 施設整備事業

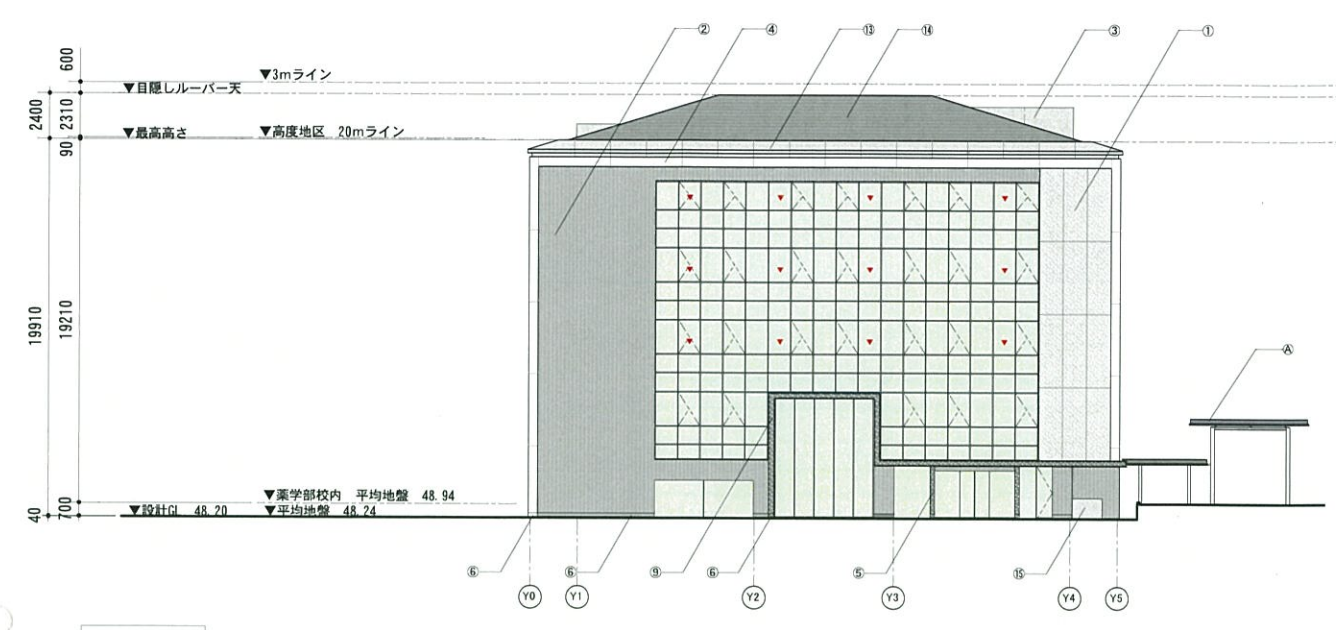
備考

- 1 申請者又は工事施工者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 申請者の氏名(法人にあってはその代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 3 設計者又は工事監理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ設計者又は工事監理者の住所を書くこと。

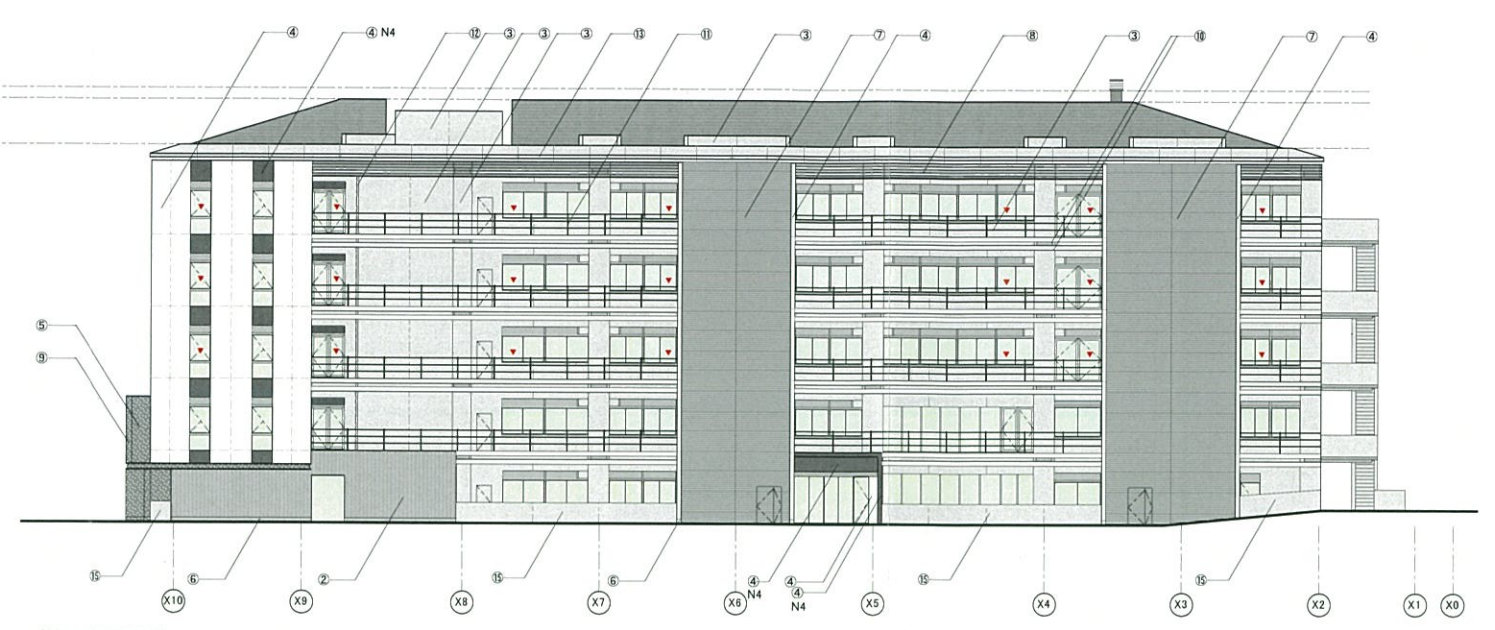


- 5 建築物の概要については、当該建築物の規模その他審査に当たり必要な観点から市町村が定める項目について、申請に係る部分及びそれ以外の部分に分けて記載すること。
- 6 建築物の形態意匠の内容については、都市計画に定められた建築物の形態意匠の制限に従い市町村が定める項目について、申請に係る部分及びそれ以外の部分に分けて記載すること。
- 7 変更申請を行う場合には、2（7）に変更の概要を記載すること。
- 8 行為の名称又は工事名が定まっているときは、2（8）に記載すること。





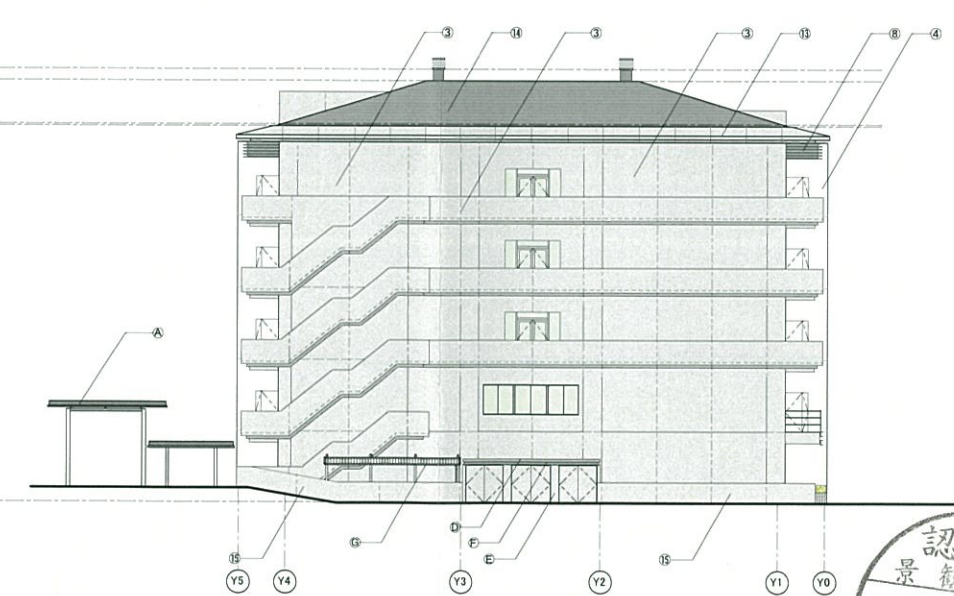
東立面図



北立面図



南立面図



西立面図

医薬系総合研究棟									
① 外壁：アルミカットパネルt=3.0 電解着色塗装	N8.5	⑧ アルミルーバー 150x30 電解着色塗装	N8.5	⑮ ドライエリア壁：化粧型枠コンクリート打放しの上、フッ素樹脂撥水材吹付	N8.5	-----	眺望目地（構造用スリット延長部は目地幅を構造用スリットに合すこと）		
② 外壁：アルミスパンデル	N8	⑨ 化粧（鋼）リン酸処理仕上	N8.5	⑯ リブ付化粧CB板み 3段	N8.5	-----	打継目地		
③ 外壁：化粧型枠コンクリート打放しの上、フッ素樹脂撥水材吹付	N8.5	⑩ 化粧（鋼）溶融亜鉛メッキ塗装の上、DP塗	N8.5	⑰ 太陽電池パネル	N4	-----	化粧目地		
④ 外壁：コンクリート打放し補修の上、DP塗	10YR8.5/0.5 (N4)	⑪ 手摺：FB組 溶融亜鉛メッキ塗装	N8.5	⑱ 空調熱源用太陽パネル	10B4/2	-----	構造用スリット		
⑤ 外壁：アルミカットパネルt=3.0 FUB	N6.5	⑫ 壁種：カラーVP φ100	N8.5	⑳ 鋼管 耐熱塗料	N4	▼	非常用出入口マーク		
⑥ 巾木：コンクリート打放し補修の上、DP塗	10YR8/0.5	⑬ アルミパネルt=2.0 電解着色塗装	N4.5	㉑ サッシ	シルバー				
⑦ アルミルーバー 100x100 電解着色塗装	N8.5	⑭ 目隠しルーバー	N4	㉒ 屋上 透熱シート防水	N7				

渡り廊下	
① 既製品	
② 屋根 支柱	N4.5 ステンレス

医ガスボンベ庫	
① 昇降し：カラーガルバリウム鋼板t=0.4	N4
② 化粧型枠打放しの上、フッ素樹脂撥水材吹付	N8.5
③ 鉄部 DP塗	N8.5

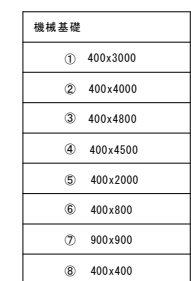
自転車置場	
① 既製品	N8.5



外観イメージパース



100



⊕○○ : 水下RFLからの高さを示す

